

きらめき

Vol. 05
2016 APRIL

～五光宇都宮店 CSR通信～



樂吃購 (ラーチーゴー)!

「樂吃購 (ラーチーゴー) !」という言葉を知っていますか?

これは、台湾で人気No.1の訪日観光情報サイトです。
弊社はこの度、訪日観光情報サイト「樂吃購 (ラーチーゴー) !日本」への観光情報の掲載に取組んでおります。

■増加する訪日外国人旅行者

日本を訪れる外国人旅行者は、2003年に開始された訪日促進事業ビジット・ジャパン・キャンペーン以降増加し続け、2014年には1,341万人に達し、旅行者の消費額は2兆円にのぼると言われております。弊社は、地域ブランドの創出や観光PRの業務に取組んでいく中で、増加し続ける訪日旅行者を栃木県への誘客へ結びつけるための方策として、台湾でもっとも人気のある訪日観光情報サイトを運営する企業と業務提携を行い、地域の情報発信を取組み始めました。

■インバウンド観光への新たな挑戦

この取組みは、日本国内で数ある観光地の中から栃木県を目的地に選んでいただくための第一歩となる、「栃木県を知ってもらおう」大きなきっかけとなり、栃木県の特徴や魅力のPRを行うと同時に東京からの利便性を積極的にアピールすることが可能となります。今後は、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、大都市圏に集中するインバウンド観光を栃木県へ取込む大きなチャンスといえます。これをきっかけに、訪日外国人の方を魅力あふれる栃木へお招きしたいと思います。



オリオンスクエアのご案内

4/29 (金・祝) 第4回29(にきゅ)グルメフェスティバル (11:00～15:00)

29“にく”の日にちなみ、「お肉」をコンセプトとしたイベントを開催します。県内有名店舗によるお肉料理の販売や腕相撲大会などを行います。今年で第4回を迎え年々盛り上がりを見せております。



5/22 (日) 宇都宮カクテルカニバル2016 (12:00～18:00)

宇都宮カクテル倶楽部加盟店が約40種類のカクテル(ノンアルコール含む)と、軽食を全種類500円で販売します。ステージでは音楽演奏などを行いイベントを盛り上げます。



6/11 (土) キャンドル雷都とちぎ(夏)室 (10:00～20:00)

環境問題を呼びかけるイベントとして毎年夏至・冬至の2回開催。キャンデルのワークショップや福祉団体など様々なブースを展開し、環境問題に対する意識を高めます。電気を消してキャンデルの光で夜を過ごしませんか?



地域人材コーディネーター養成講座

地域人材コーディネーター養成講座とは、「地方へ新しいひとの流れをつくる」ことを目的に、地域中小企業が働く意欲のある学生を受入れるインターンシップのことです。

今回、当社は早稲田大学1年生を約1ヶ月間受け入れました!彼は向上心が強く、自己紹介では「たくさんの方の話を吸収し、五光に新しい風を吹かせたい」と話していました。

彼には大きな課題を与えました。現在、当社が新たに取組んでいる訪日観光情報サイト「樂吃購 (ラーチーゴー) !日本」の企画営業です。まずは、訪問先の選定から始まり、アポイントから企画提案まで行いました。そしてインターン終盤では、「常陽銀行 食の商談会」におけるラーチーゴーPRブースにおいて、30社以上の商談を目標に掲げ、結果的には50社以上の方と商談することができました。

今回の受け入れを通して、学生ならではの新たなアイデアや事業が創出されるだけでなく、社内が活性化し、社員の成長へと繋がりました。幅広い目線を取り入れながら、今後も地域密着型企業として学生インターンシップを積極的に行います!



～交通事故防止の取り組み～

栃木県は交通事故がとても多い地域です。近年、交通事故による死者数が増加傾向にあり、人口10万人当たりの死者数は全国ワースト上位にあります。当社では、交通事故を起こさないため、次のような安全運転への取組みを行なっています。

◆システムの導入による安全管理

社用車には、車載管理システムを導入しています。速度超過や急ブレーキなど危険運転のデータを一元管理し、個人別の運転評価を行っています。また、障害物との距離を感知するコーナーガイドセンサーや、ドライブレコーダーを設置し、安全運転の支援を行っております。もちろん、日常点検表による車両管理も徹底しています。

◆安全意識を高めるための社員研修

社員の安全意識向上のため、新入社員は3ヶ月間の運転講習を経て、安全運転を身につけた者から社用車の運転を始めています。また、危険運転が発覚した場合には、実技講習による改善指導をしています。その他にも全社員が事故防止DVDを鑑賞し、定期的に安全意識を高める機会を設けています。

当社では、事故防止システムの導入によって事故の危険性を可視化し、研修では安全意識を強化しています。昨今、バスや高齢者の悲惨な事故をニュースで耳にします。同じような事故を繰り返さないためにも、しっかりと安全管理体制を築いていきます。そして社員一人ひとりが「安心安全で思いやりのある運転を」こころがけていきたいと思っております。



ディスプレイまめちしき



5月5日はこどもの日です。端午の節句にはこいのぼりを飾ることが恒例となっています。今回はこいのぼりの由来と意味について改めて確認したいと思います。

もともと、江戸時代に武家の間で子どもの誕生を祝ってのぼりを立てる風習がありました。次第にその風習は庶民にも広まっていき、中国で言い伝えられていた立身出世から、鯉の滝登りをイメージし、のぼりに鯉を描き、端午の節句を祝い出したのが「こいのぼり」の始まりと言われています。現在の鯉のぼりは3匹が一般的ですが、江戸時代には1匹だけだったそうです。

現在のように、[真鯉=黒=父親、緋鯉=赤=母親、子供の子鯉=青=子ども]を表すようになったのは昭和に入ってからのことです。こいのぼりと吹き流しの色は、古代中国の「青、赤、黄、白、黒」を用いる陰陽五行説が関係しています。

3匹の鯉のぼりは、平和な家庭の象徴、また、子どもの健やかな成長と将来を願う親心が込められています。



発行・編集
株式会社 五光宇都宮店
[住所]〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町3204-8
[TEL]028-634-1255 [FAX]028-636-9282
[URL]http://www.goko-net.jp/